

3rd International Dysphagia Symposium at FHUR

2019年9月6、7日に日本摂食嚥下リハビリテーション学会が新潟で開催されるのに伴って、学会が招聘している欧米諸国の研究者10名が、9月4日(木)に来藤します。藤田リハは日本の嚥下リハビリテーションの中心的存在であり、毎年、学会前後に多くの研究者が立ち寄るようになっていました。昨年も10名の研究者が来藤し、第2回International Dysphagia Symposiumを開催しました。

今回来藤予定の小児科医Sudarshan R. Jadcherla先生と言語聴覚士Gary McCullough先生は、アメリカの嚥下学会の2019年、2018年の大会長であり、アメリカの嚥下リハビリテーションの中心的存在です。また消化器外科医師Pere Clave先生は、ヨーロッパの嚥下学会の理事長でありヨーロッパの嚥下リハビリテーションを牽引しています。この3名の先生方をはじめ、来藤者全員、嚥下リハの第一線で国際的に積極的に活躍している方々です。

こうした著名な研究者と議論できることはまたとない貴重な機会であり、国際レベルの研究推進と共同研究のさらなる発展を目的に、昨年に引き続き3rd International Dysphagia Symposiumを開催します。

開催要項

名称： 3rd International Dysphagia Symposium at FHUR
主催代表： 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座 才藤栄一
会期： 2019年9月4日(水) 13時00分~18時00分
会場： 藤田医科大学 500人ホール
参加予定人数： 約200名
対象： 医師、歯科医師、療法士、看護師、歯科衛生士、管理栄養士
*本シンポジウムは、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士単位セミナーに該当します。
事務局・担当者： 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座
尾関恩 (E-mail megnagae@fujita-hu.ac.jp)
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
電話 0562-93-2167/FAX0562-95-2906

プログラム

Opening remarks Eiichi Saitoh
Lectures Sudarshan R. Jadcherla, MD, FRCP, DCH, AGAF (The Ohio State University, USA)
Gary McCullough, SLP, PhD (Appalachian State University, USA)
Pere Clave, MD, PhD (Universitat Autònoma de Barcelona, ESP)
Georgia A. Malandraki, SLP, MPhil (Purdue University, USA)
Anais Rameau, MD, PhD (Weill Cornell University, USA)
Karen Wheeler Hegland, SLP, PhD (University of Florida, USA)
Sonja M. Molfenter, SLP, PhD (NYU Steinhardt, USA)
Stefanie Duchac, SLP, PhD (SRH Hochschule für Gesundheit, GER)
Ulrike Frank, SLP, MSc (Universitat Potsdam, GER)
Marie Jardine, SLP, MSci (University of Auckland, NZ)
Masako Kurachi, SLP, PhD (International University of Health and Welfare, JPN)
Yoichiro Aoyagi, MD, PhD (Fujita Health University, JPN)
Koichiro Matsuo, DDS, PhD (Fujita Health University, JPN)
Hiroshige Taniguchi, DDS, PhD (Asahi University, JPN)
Yoko Inamoto, SLP, PhD (Fujita Health University, JPN)
Closing remarks Sudarshan R. Jadcherla